

京大数学教室近況報告(11/19/2016現在)

平成28年度 数学専攻長 山口孝男

数学教室の近況についてご報告します。

1. 構成員

数学教室の現在の構成員は、教員数52名で、その内訳は、教授18名、准教授22名、講師2名、助教5名、特定助教5名、客員教員が7名です。

現在、准教授2名、助教3名を公募中です。数学教室をサポートする体制として、数学事務室に9名、図書室に4名、用務員室に3名の職員がおられます。

2. 主なプロジェクト活動

数学教室が取り組んでいる主なプロジェクト活動として、KTGU 数学系ユニットと MACS 教育プログラムがあります。

1). KTGU 数学系ユニット

昨年度から開始されたプロジェクトで、森重文先生が初代ユニット長でしたが、今年度から國府寛司教授に引き継がれています。下記がプロジェクトの内容です。

- 海外の著名な研究者を招聘し、特別講義を開講、
- 海外副指導教員による大学院生に対する共同学位指導の実施、
- 大学院生への海外渡航支援、学部セミナーの開催

これまで17名の世界的な研究者が特別招聘教授や特任招聘教授としてプロジェクトに参加しています。また、海外副指導教員による共同学位指導を受けるなどの定められた基準を満たす学位取得者には、スーパーグローバルのコース修了証が授与されます。昨年度は、3名の学位取得者にコース修了証が授与されました。今年度は、5名もしくはそれ以上の学生がコースを修了する見込みです。

2). MACS 教育プログラム

これは概算要求による研究科内のプロジェクトで、今年度から始まっているプロジェクトです。目的は、数理を基盤とした理学5分野を横断する融合研究を促進し、新たな学問分野の自発的創出を促すことと、それに対応できる優れた若手研究者を育成すること、となっています。そのため、理学研究科の複数の専攻の教員と学生からなるスタディグループが組織され、分野横断型の教育と研究が行われています。スタ

ディグループの例として、データ同化の数理と応用、自然科学のためのカテゴリー理論、神経回路による情報処理と学習の数理、などがあります。

3. 教職員の異動

次に教職員の異動についてお知らせします。今年度は、4月に日野正訓教授と前川泰則准教授が着任され、5月に保険数学の客員准教授として佐内利典さんが着任されています。また8月には、特定助教（MACS教育プログラム）として石塚裕大さんが着任され、10月には特定助教（白眉）として金沢篤さんが着任されました。新任の方々の数学教室におけるご活躍を期待しています。

一方で、9月30日付で、藤井道彦准教授が琉球大学理学部に教授として、そして船野敬助教が東北大学情報学研究科に准教授として転出されました。これまでの数学教室におけるご貢献に感謝すると共に新任地でのご活躍をお祈りいたします。また9月30日付で、長年にわたって大学院教務のお仕事で貢献されてこられた数学教室事務室の木下万恵さんが退職されました。木下さん、長い間有難うございました。

4. 受賞

最後に今年の教員の受賞についてご報告します。

日本学術振興会賞 日野正訓 教授 (平成 28 年 2 月)

日本数学会春季賞 入谷寛 准教授 (平成 28 年 3 月)

文部科学大臣表彰若手科学者賞 塚本真輝 助教 (平成 28 年 4 月)

日本数学会建部賢弘賞奨励賞 阿部健 特定助教 (平成 28 年 9 月)

Senior Berwick Prize 日野正訓 教授 (平成 28 年 11 月)

受賞された方々、誠におめでとうございます。今後のご研究の益々のご発展をお祈りいたします。